

「免疫抑制剤症例における呼吸器感染症」

宮良高雄、

(以下、林 邦雄の筆記ノートより、記載文責 林)

Introduction

1. 低ガンマグロブリン血症
2. 慢性肉芽症
3. AIDS
4. 抗 TNF
5. MSMD----INF γ R、IL12R 異常

60y : Wegener

治療 : CPM100mg に上昇して CMV colitis

データ : WBC:Hb:Plt=2900 : 6.8 : 7.2

Mo 29.6%, Lym 62.6, Neutro 7.6%

AsperAg+,

感染症治療 : VRCZ45days、陰影改善、CT 像残

30y : AML(M4)

合併症 : BO (閉塞性細気管支炎)

治療 : mSP1500, PSI40 に変更、tapering で BO 再燃

36.5°C、%VC72.9, EFV1.0=16

多発の空洞

Aspergillus, P.aeruginosa 混合感染していた。BO に入り込んだ。

普通、人は 400 ヶの Aspergillus を吸い込むと言われる。

48y : WBC 72000, Aty 31% (ATL)-

合併症 : 両側浸潤陰影、Pneumocystis(carinii)jiroveci

legionella(Legionella pneumophila も見つかる

G(-)桿菌, Macrophage の中で増える---細胞性免疫が重要

名前の由来、在郷軍人 (legionnaire), 肺を好む pneumo-phila

フィラデルフィアのホテルで米国在郷軍人会総会に出席した人と

ホテルの前を通った人の中で 221 肺炎、34 人死亡。

30y : 診断 : UC(Ulcerative colitis)

治療 PSL60mg----30mg に

感染症 : WBC 13400, CRP9.5

2 日で陰影が大きく拡大-----膿瘍化した。最終右肺穴だらけ。

- 痰がでた-----Legionella、陰影は rapid expansion

ヒメネス (Gimenes) 染色では赤色に染まります。

注意 : 温泉 上がり湯を必ずする。

病院では朝一の湯に入れるな。

73y : 縦隔 LN

肺に結節陰影---- 2 日で肺広がる

膿瘍となる。-Faecium、Intermeida

そして Legionella-----急性肺膿瘍の報告例

(普通は肺炎になる)

71y : MDS、Myeloblast 20.7%

感染症 : 39.7 度、左下肺炎、Legionella 尿中抗原、

尿 : 濃縮すると検査ででる。

始め診断つかない疑ったら legionella の可能性外せない、すぐ治療を。

67y : MTX, リキート治療中、

生活 ; 銭湯が楽しみ-----家族に生活を尋ねること。

ニューキノロン, RFP

痰から尿からでない legionella

データ : CPK44000

リステリアも合併

免疫抑制投与患者は

「legionella+アルファ」に中印。

急速の大きな neavou-----legionella

55 度以上で死ぬから家庭の瞬間湯沸かしでは大丈夫

28y : 舌ガン

28 歳で舌ガン、HIV で多い

データ :

KL6—1619 (間質性のマーカー)、血沈 123、CRP 5.5、

b-d-glu 280 ----- Pneumocystis(carinii)jiroveci pneumonia

WBC=4000、CD4=10.

栄養体-----テフ・キットで染める。

嚢子は-----glocot で染まるが、栄養体は染まらない。

65y : 乾性咳嗽、

下痢。体重減少、舌は真っ白（口腔内カンジダ）

手の水虫

同じく AISD

治療：バクタ 9T/day で。

48y : 発熱、全身倦怠

タイで AIDS と診断。39 度以上、

167cm, 45kg

hepatomegaly, Alb=2, WBC 9500, Lym 1%、CD4=0.65

ALP だけ高い

痰：細胞どこに菌いない、

DIC 死亡で死亡。

胸骨右縁、第二肋骨から縦隔生検可能である。抗酸菌で埋め尽くされていた。

まとめ：

1. 結核発症率：免疫抑制状態、症状急速
健全人に比べて、
AIDS 100-170、HIV 50-110、TNF 1.909、PSL 4.9 倍
2. 肺 Asperxgillus
3. Legionella-----膿瘍注意、クビット投与せよ。
4. Carinii-----磨りガラス典型